

史跡郡里廃寺跡整備基本計画書

令和4年3月

美馬市教育委員会

序文

美馬市は、徳島県西部、吉野川中流域に位置する清らかな水と豊かな緑に恵まれ、多くの文化財が残る歴史情緒あふれるまちです。市域の中央を吉野川が貫流し、日本一の清流穴吹川や阿讃山脈、剣山など豊かな自然が存在しています。また、段の塚穴や郡里廃寺跡などの史跡をはじめ、長岡家住宅や三木家住宅などの建造物、別所の大クスや川井のエドヒガンなどの天然記念物、「うだつの町並み」で知られる美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区の重伝建地区など多くの文化財に恵まれております。平成17年3月1日に、脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村の3町1村が合併し誕生してから15年が経過し、よりいっそうの文化財保護の推進を目指しています。

郡里廃寺跡は昭和42年と昭和43年に行われた発掘調査により塔跡や金堂跡が明らかとなり徳島県最古級の古代寺院であることが明らかとなりました。これらの調査成果をもとに学術的に高い評価を受け、昭和51年に国史跡に指定されました。その後、史跡整備事業が計画され、平成17年より発掘調査や公有地化が行われました。そして、平成30年にこれまでの発掘調査成果をまとめた発掘調査報告書を刊行しました。報告書の刊行を受け、今後の史跡整備事業にあたり、史跡の価値を損なうことなく後世に継承し、適切に保存活用していくために、令和2年度に「史跡郡里廃寺跡保存活用計画」を策定しました。

この度、この保存活用計画の内容を踏まえつつ、今後の整備の基本的な考え方と方向性を示すため、「史跡郡里廃寺跡整備基本計画」を策定しました。今後は、保存活用計画及び本計画を指針として活用・整備を進めてまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり御指導を賜りました文化庁、徳島県、並びに国指定史跡郡里廃寺跡整備検討委員会委員の皆様、郡里廃寺跡の調査から保存に深い御理解と御協力をいただいております地元関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

美馬市教育委員会
教育長 村岡 直美

例言

1. 本書は、徳島県美馬市美馬町字銀杏木・字願勝寺に所在する、史跡郡里廃寺跡の整備基本計画書である。
2. 史跡郡里廃寺跡の整備基本計画策定事業は、美馬市教育委員会が主体となり、令和3年度(2021)に実施した。
3. 本計画の策定にあたっては、文化庁の「歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業補助金」の交付を受けて実施した。
4. 本事業の実施にあたっては、「国指定史跡郡里廃寺跡整備検討委員会」を開催したうえで専門的見地からの指導助言を受けた。
5. 本事業の事務は、美馬市教育委員会事務局 地域学習推進課が担当した。
6. 本書の編集・執筆は美馬市教育委員会事務局 地域学習推進課が主体となり、その関連業務の一部を株式会社イビソク徳島営業所に委託した。
7. 本書に掲載した地図の一部は、国土交通省発行の国土数値情報及び、国土地理院発行の基盤地図情報・地理院タイルを加工して作成した。

目次

第1章 計画策定の目的	p 1
第1節 計画策定に至る経緯とその目的	p 1
第2節 計画の対象範囲と計画期間	p 1
(1) 計画の対象範囲	p 1
(2) 計画期間	p 2
第3節 整備検討委員会の設置と審議経過	p 2
(1) 整備検討委員会の設置	p 2
(2) 整備検討委員会の審議経過	p 4
第4節 上位・関連計画との関係	p 5
(1) 上位計画	p 6
(2) 関連計画	p 7
第2章 史跡郡里廃寺跡をとりまく環境	p 12
第1節 位置	p 12
第2節 自然的環境	p 12
(1) 地質・地形	p 12
(2) 気候	p 14
(3) 植生	p 15
第3節 歴史的環境	p 15
(1) 美馬市の歴史	p 15
(2) 郡里廃寺跡周辺の文化財	p 19
第4節 社会的環境	p 21
(1) 人口	p 21
(2) 交通	p 21
(3) 観光	p 22
(4) 産業	p 24
(5) 土地利用	p 24
(6) 土地所有	p 25
(7) 法的規制	p 27
(8) 地域住民の要望	p 27
第3章 史跡郡里廃寺跡の概要	p 28
第1節 指定の内容	p 28
(1) 当初指定時	p 28
(2) 平成9年追加指定時	p 29
(3) 平成18年追加指定時	p 29

第2節	管理団体の指定	p 29
第3節	史跡郡里廃寺跡の調査成果	p 30
	(1) 発掘調査	p 31
	(2) その他の調査	p 43
第4節	史跡郡里廃寺跡の整備状況	p 44
	(1) 保存管理	p 44
	(2) 活用	p 45
	(3) 整備	p 46
	(4) 運営体制	p 46
第5節	史跡郡里廃寺跡の本質的価値と構成要素	p 47
	(1) 本質的価値	p 47
	(2) 構成要素	p 47
第4章	史跡郡里廃寺跡の現状と課題	p 51
第1節	保存管理に関する現状と課題	p 51
第2節	活用に関する現状と課題	p 51
第3節	整備に関する現状と課題	p 52
第4節	運営体制に関する現状と課題	p 52
第5章	整備の基本方針	p 53
第1節	基本理念	p 53
第2節	基本方針	p 53
第3節	基本施策	p 54
第6章	整備基本計画	p 55
第1節	全体計画	p 55
	(1) 全体計画	p 55
	(2) 地区区分計画	p 56
第2節	遺構保存に関する計画	p 57
第3節	遺構表現に関する計画	p 57
	(1) 金堂跡	p 57
	(2) 塔跡	p 59
	(3) 寺域西限区画・瓦窯跡	p 61
	(4) 寺域北・東限区画	p 62
	(5) 寺域南限区画	p 62
第4節	施設計画	p 62
	(1) 案内・解説施設	p 62
	(2) 管理・便益施設	p 63
第5節	修景および植栽計画	p 65

第6節	地形造成および排水に関する計画	p 67
(1)	造成計画	p 67
(2)	排水計画	p 72
第7節	ガイダンス施設	p 73
(1)	美馬市立郷土博物館	p 73
(2)	道の駅「みまの里」	p 76
第8節	動線計画	p 77
(1)	指定地内の動線	p 77
(2)	駐車場からの動線	p 78
第9節	公開・活用計画	p 78
(1)	デジタルコンテンツの活用	p 78
(2)	学校・社会教育	p 79
(3)	パンフレットの作成	p 79
(4)	地域関連文化財等との連携	p 79
第10節	整備調査計画	p 80
第11節	管理・運営計画	p 80
第12節	整備後のイメージ	p 82
第7章	整備事業計画	p 84
第1節	整備事業計画	p 84
第2節	整備スケジュール	p 84